

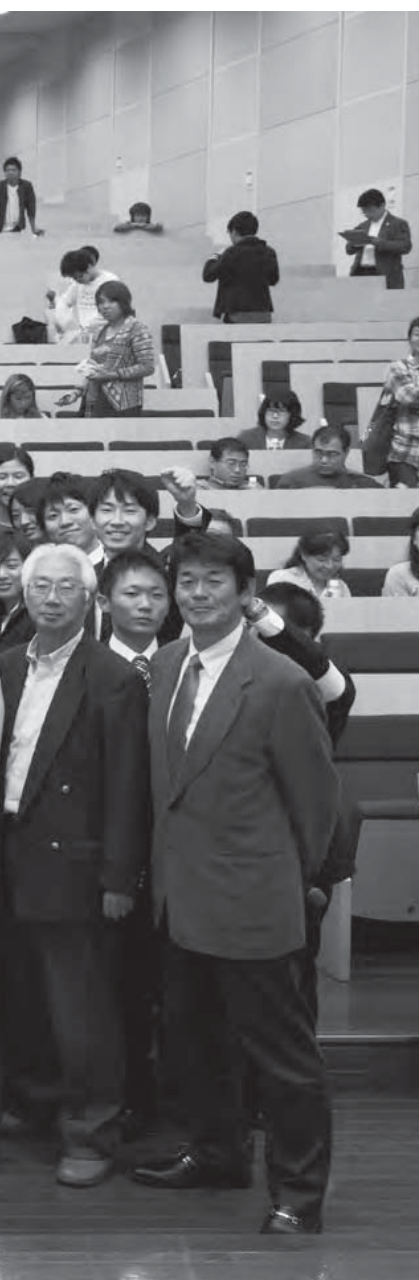


専修大学スポーツ研究所
公開シンポジウム 2013

カレッジスポーツの チカラを考える

2013年10月21日(月)

会場：専修大学生田キャンパス10号館10301教室



ご挨拶

佐藤 雅幸(専修大学スポーツ研究所長)

こんにちは。専修大学スポーツ研究所を代表してご挨拶申し上げます。まず、第6回シンポジウムにご参加いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

2013年を振り返るにはまだ少し早いかもしれませんが、今年も、スポーツ界からは素晴らしいニュースがわれわれにたくさん届いています。9月にブエノスアイレスで開催されたIOC総会におけるジャック・ロゲ会長の、「TOKYO」という言葉で、われわれは大きな感動に包まれました。そして、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催が決定しました。7年後を考えると非常にワクワクしますが、この東京オリンピック・パラリンピッ

ク開催には非常に大きな意味があると考えています。

また、先週の土曜日に、専修大学駅伝部が予選会を見事に突破し、第89回箱根駅伝の本戦に出場することになりました。監督の野呂先生、ご起立をお願いします。本戦大会では、日本体育大学と一緒に走れるということで、1位・2位を争ってほしいと思います。

さて、このシンポジウムも第6回目を迎えました。今年も素晴らしいゲストを迎えています。先ほど、佐竹先生からも説明がありましたが、日本体育大学理事長、元専修大学教授の松浪健四郎先生、現在は日本体育大学で教鞭(きょうべん)を執られている体操の田中理恵選手、そして、専修大学の星と言っても過言ではないユニバーシアード日本代表で、専修大学サッカー部主将の長澤和輝君を迎え、シンポジウムが始まります。コーディネーターとして、人文ジャーナリズム学科の山田先生をお願いします。

それでは、ゲストの皆さんと一緒に考え、意義ある提言をしていきたいと考えています。ぜひ、よろしくお願いします。

最後になりましたが、シンポジウムは、第1回から大塚製菓株式会社様にサポートして

いただいています。重ねて御礼申し上げます。簡単ですが、ご挨拶とします。ありがとうございました。それでは、松浪先生、よろしくをお願いします。



佐藤 雅幸

LEGACY OF SPORT VOL. 6 専修大学スポーツ研究所公開シンポジウム2013

カレッジスポーツのチカラを考える

2013年10月21日(月)
4、5限(15:00-17:45延長あり)
専修大学生田キャンパス10号館10301教室

基調講演「スポーツの文化的価値とその可能性」<15:10-15:50>
松浪 健四郎(日本体育大学理事長)

対談「カレッジスポーツのポテンシャル—スポーツを通じた地域貢献とその未来像—」<15:50-16:30>
松浪 健四郎、佐藤 雅幸(専修大学スポーツ研究所長)
山田 健太(専修大学文学部人文ジャーナリズム学科長)

シンポジウム
「カレッジスポーツの限界と可能性」<16:40-17:40>
田中 理恵(日本体育大学助教/オリンピアン)
長澤 和輝(専修大学サッカー部/ユニバーシアード日本代表キャプテン)
山田 健太(専修大学文学部人文ジャーナリズム学科長)

聴講無料

協力 大塚製菓株式会社
主催 専修大学スポーツ研究所 sports@isc.senshu-u.ac.jp 044-911-1032